

第6学年図画工作科 「今日から筆あととARTアーティスト」

学習指導者 毛利 二実子

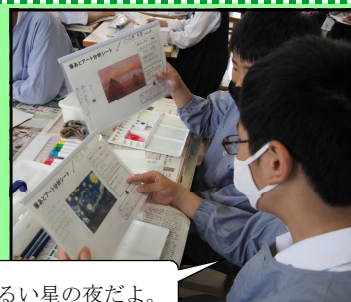
単元の概要・子供と共有した目標 自らの目標に向かう姿

「空」を自由に絵に表し、友達と見合うことで表現の多様さを感じた子供たちは、有名な画家の作品に興味をもち4点の美術作品を鑑賞する活動を通して形や色以外に筆あとによる特徴等を感じ取り、「自分の理想の空を表現したい」という思いを高めた。その後、自分の表したい空に合う表し方を試し、作品を蓄積していった。本時では、鑑賞して感じ取ったことを書き込んだワークシートや、蓄積した作品を見返しながら、自分の理想の空を表現するために、粘り強く取り組んでいった。

見通し 問題を発見して、課題を設定する姿

これまでに美術作品を鑑賞して感じ取ったことを記入しているワークシートや掲示物等を見返し、それぞれの作品の特徴を想起したり、鑑賞の意義を確認したりした。それらを生かして、自分はどのような空を表したいかをグループ内で表出する場を設け、自分の課題を明確にもてるようにした。

自分が表したい空はどのような空なのかをグループ内で表出することで、本時の課題解決に意欲を高める姿が見られた。



僕が表したい空は、ゴッホの「星月夜」のような明るい星の夜だよ。

鑑賞したことを生かして、自分の表したい空を表そう

行動 諦めずに試行錯誤する姿

鑑賞して感じ取ったことを記入したワークシートや、表し方を試しながら描いた作品を蓄積した「筆あととARTノート」をいつでも見返し、「鑑賞したものから見つけた自分の理想に合う表し方を試していく」ことがしやすい場を設定した。また、「筆あととARTノート」を基に、今日の作品とこれまでの作品を比較し、変容を捉え、理想の空に近づいてきたことを実感しやすくした。

モネの作品のようにたくさん色を重ねよう。筆あとを確認しながら表そう。

自分が表したい表し方に合う描画材を選んで色や筆あとを試し、表したい理想の空に向かって試行錯誤する姿が見られた。蓄積している作品と比較し、変容を捉える姿も見られた。



前と比べると水をたっぷり入れたことで「ぼんやりした透明感のある空」に近づいているよ。

振り返り 自らの学びを正確に捉える姿・今後の学習や生活に生かそうとする姿

これまで蓄積してきた作品と本時に描いた作品とを比較して変容を捉え、感じたことを記述する振り返りの場を設定した。また、「本題材で学んだことを今後、どんなことに生かしたいか」をワークシートに記述させ、鑑賞をすることで自分の見方・感じ方が広がるとともに、自分の表現が広がるという鑑賞の価値を自覚できるようにした。

本時の学びについて振り返り、理想の空に向かって粘り強く試したことや、「他の絵を描くときに生かしたい」などと今後に生かせそうなことを見いだすことができていた。

絵の具を分厚く塗ると納得のいく力強い作品ができた。新しい表し方を知って表現を広げたので、また別の絵でも生かしたい。



考察（○：成果、▲：課題）

- 「筆あととARTノート」に自分の作品を蓄積し、見返しやすくしたことや、鑑賞して感じ取ったことを集約している掲示物があったことで、自分の理想に合う表し方を試す姿が見られた。
- 子供が試行錯誤しやすい環境を整えていた。
- ▲ 方法を想起させる場面で、「筆あととARTノート」を見返し、これまでの変容を感じ、見通しをもたせるべきだった。行動場面でも必要感をもって自分の作品を見返せるような手立てが必要だった。

右のQRコードから、学習指導案や他の実践をご覧いただけます。

